



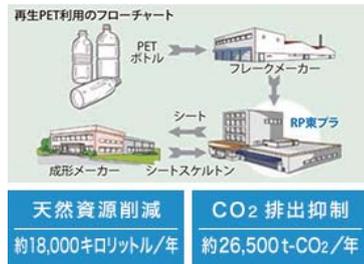
RP東プラ株式会社 滋賀竜王工場（湖南市）

●生産工程内の樹脂端材の再利用

弊社は1953年の創業以来、樹脂の加工技術を中心に真空成形・射出成形・シート押出成形と言う樹脂の二つの成形方法を駆使し時代のニーズに応えつつその技術の向上に邁進して参りました。

高度成長期には食品ロスの低減に資した冷蔵庫内装部品等の成形を中心に、その後は住宅建材分野・産業機器分野・緑地化環境分野・食品包材分野・アミューズメント分野等でお客様の要望に技術と品質で応えながら現在に至っております。

近年では食品の酸化劣化を抑制するバリアシート（多層シート）を開発し、食品ロス削減にも貢献しております。



ゴミの削減についてPETシートの生産において全社で年間2万5千トンにもおよびPETボトルの粉砕品を再生原料として使用しており、当滋賀竜王工場においてもPETシートとシートの生産においてPETボトルの粉砕品とシート生産工程内で発生する端材の殆どを再生原料として活用しております。

また併せて工場全体で、小集団活動によるロスの削減、5S活動によるプラスチックゴミの分別を進め、廃棄ゴミの削減も進めております。



RP東プラ株式会社 滋賀竜王工場

住所：滋賀県湖南市日枝町2番地1 TEL:0748-75-1100 FAX:0748-75-0283
HP: <https://www.rptopla.co.jp>
業種：プラスチックの射出成形品、真空成形品及びシート製品の設計・開発、製造及び販売

「SDGs × RP東プラ → プラスチックの未来」

“Technology & Ecology”をテーマに多彩なプラスチック事業を展開する当社は、SDGsで目標提示された国内外の社会課題の解決を視野に、自社の社会的責任を果たすとともに持続的な成長を目指してゆくさまざまな取り組みを行っています。当滋賀竜王工場においても従業員による活動を中心にプラスチック廃棄物の削減、再資源化などに取り組んでいます。



取締役常務執行役員 兼 滋賀事業所長
田丸 宏さん